Tracers（トレイサーズ）

Tracers MSCIオール・カントリー・ゴールドプラス

運用におけるポイントや期待される投資効果などについて

■ ネット専用ノーロード・ファンドシリーズ「Tracers（トレイサーズ）」のファンドとして、2026年3月6日に設定予定（当初申込期間：2026年2月24日～3月5日）の当ファンドは、世界株式（海外先進国株式、海外新興国株式、日本株式）と金を主要投資対象とし、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の200%相当額（世界株式100%＋金100%）の投資を行ないます。

■ 本レポートでは、当ファンドの運用におけるポイントや期待される投資効果などについて、ご紹介いたします。

本資料の目次

- 運用におけるポイント
- 投資対象資産（世界株式・金）とその特徴
- 先物取引の活用により期待される「レバレッジ効果」
- 世界株式に金を組み合わせることにより期待される「運用効率の向上と下値抑制効果」
- MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスについて、もっと詳しく①②

運用におけるポイント

■ 当ファンドでは、下記のルールに基づいて運用を行ないます。値動きの特性が異なる世界株式と金を組み合わせることで、**分散効果**による**運用効率の向上**や**下値抑制効果**が期待されます。

■ また、先物取引を積極的に活用し、純資産総額の200%相当額の投資を行なうことで、**レバレッジ効果（少額で大きな投資成果を得ること）**が期待できます。

当ファンドのルール

当ファンドでは、先物取引を活用し、世界株式と金（それぞれ純資産総額の100%相当額）へ純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。

※世界株式では先物取引を一部活用し、金では金先物などに投資をします。
※上記は、当ファンドの資産配分のイメージです。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】

投資対象資産(世界株式・金)とその特徴

■ 当ファンドは、世界株式と金に分散投資を行ないます。世界株式への投資*1では、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざし、金については金先物取引*2などを通じて投資を行ないます。

*1「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」、「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング(ヘッジなし)マザーファンド」、「日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド」および日本を含む世界の株価指数先物取引などを通じて投資を行ないます。
*2 ファンドの状況や投資環境などによっては、金先物取引に代えて、金地金価格への連動をめざすETF(上場投資信託)に投資する場合があります。

世界株式
(MSCIｵｰﾙ･ｶﾝﾄﾘｰ･ﾜｰﾙﾄﾞ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ)

「世界の株式市場の動きをとらえた株価指数」

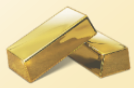
- MSCI Inc.が開発した、**時価総額加重平均型**の株価指数で、**先進国・新興国の株式市場に上場する大型・中型株で構成**されています。
- 構成銘柄数は**約2,500銘柄**、世界の投資可能な株式市場の時価総額の**約85%をカバー**しています(2025年12月末現在)。

All Country オール・カントリー

金
(金先物など)

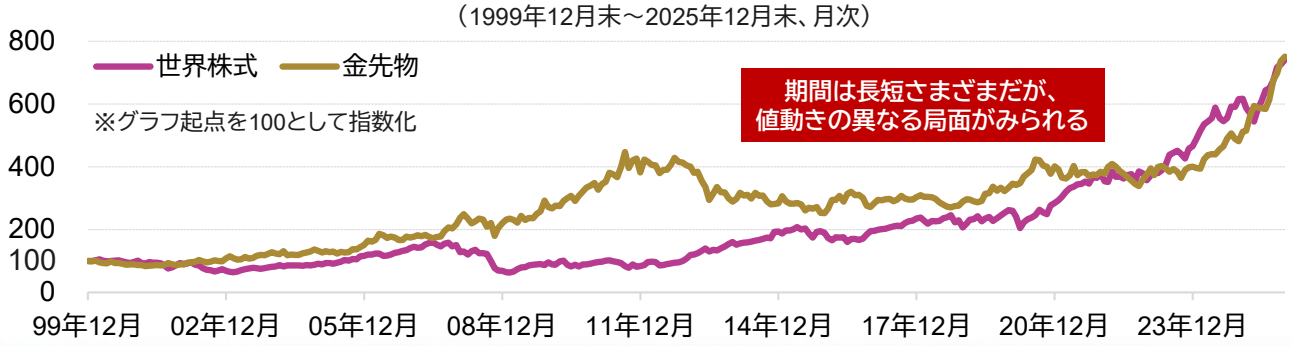
「分散投資先として有効な資産」

- 株式や債券などの主要資産と**値動きの特性が異なる傾向**があります。
- 「有事の金」と呼ばれ、**市場急変時に選好されやすい傾向**にあります。
- それ自体に価値がある実物資産であることから、**インフレに強い**と考えられます。

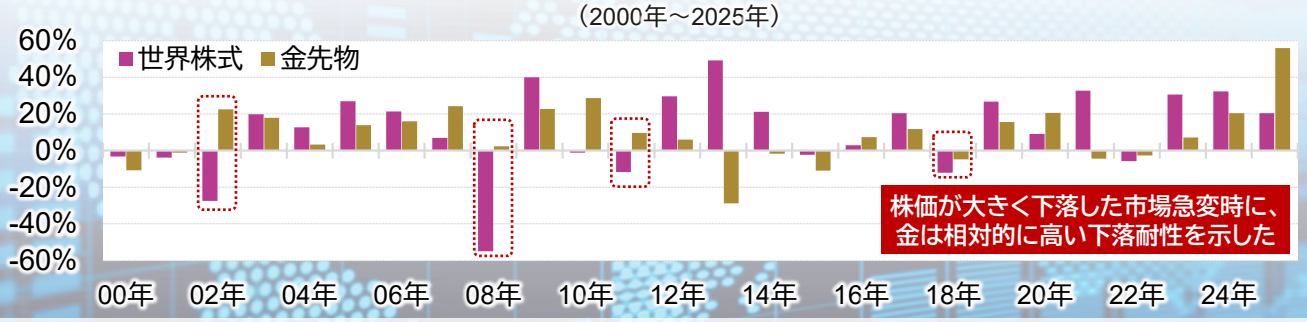


※上記は、主な特徴を列挙したものであり、すべてを網羅したものではありません。

＜世界株式、金先物の推移＞
(1999年12月末～2025年12月末、月次)



＜世界株式、金先物の年間騰落率＞
(2000年～2025年)



※ 世界株式:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(税引後配当込み、米ドルベース)の値をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算、金先物:ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターン*3ベース、米ドルベース)

*3 先物取引のロールオーバーなどを考慮したものです。

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

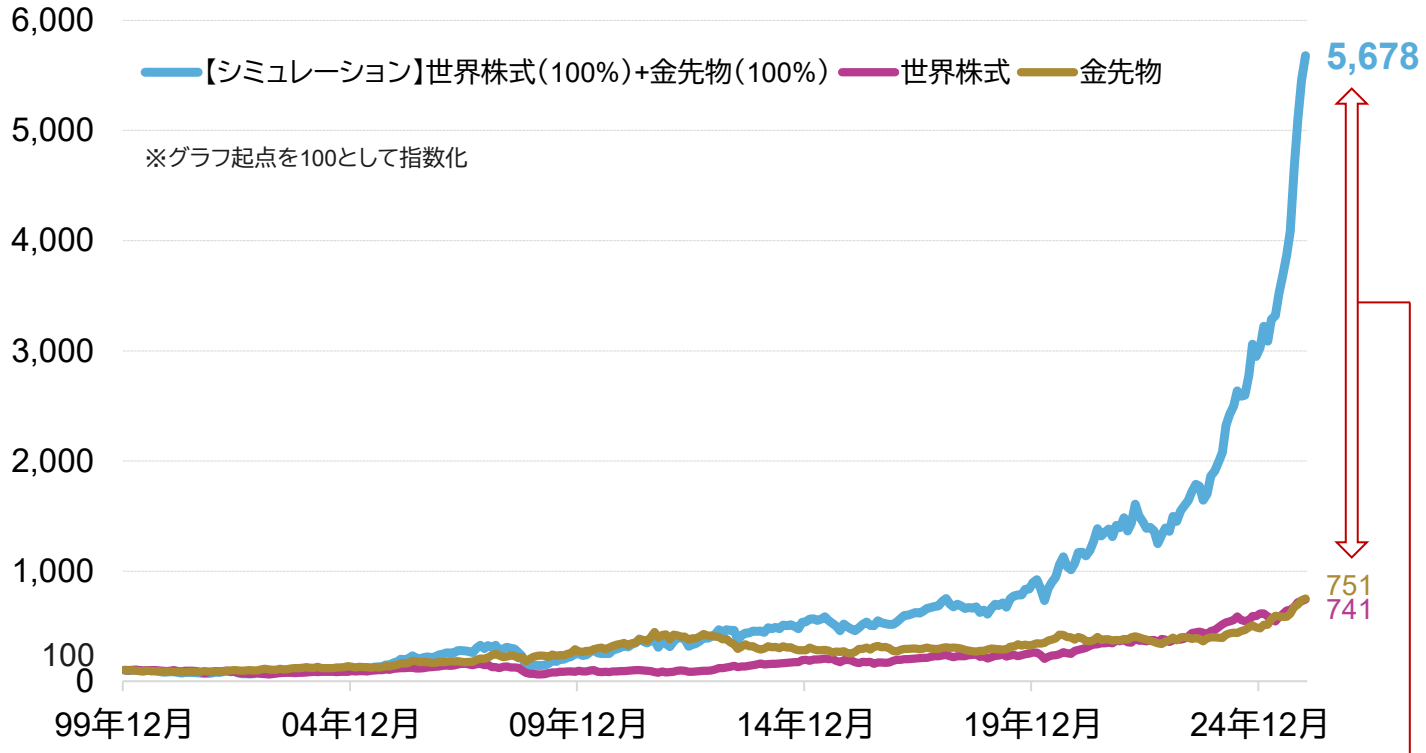
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】

先物取引の活用により期待される「レバレッジ効果」

- 当ファンドでは、積極的に先物取引を活用しますが、先物取引を活用するメリットの一つに、レバレッジ効果が挙げられます。
- 当ファンドの運用ルールに基づいたシミュレーションでは、**世界株式と金との組み合わせによる分散効果に加え、先物取引の活用によるレバレッジ効果や、長期投資に伴なう複利効果などが寄与**し、2000年以降の期間において、堅調なパフォーマンスとなったことが確認できます。

＜シミュレーションおよび世界株式、金先物の推移＞
（1999年12月末～2025年12月末、月次）

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績でありません。



ポイント

先物取引の活用による**レバレッジ効果**や、**長期投資に伴なう複利効果**などが寄与。

※ 世界株式：MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の値をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算、金先物：ブルームバーグ金サブ指数（エクセスリターンベース、米ドルベース）
※ 【シミュレーション】については、上記の世界株式と金先物を100%：100%の割合で合成し、月次リバランス
※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。
※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

※ 上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴なう資金流出入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。運用開始後の当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。
※ 純資産総額の200%相当額の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き（リスク）が大きかった点には十分ご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

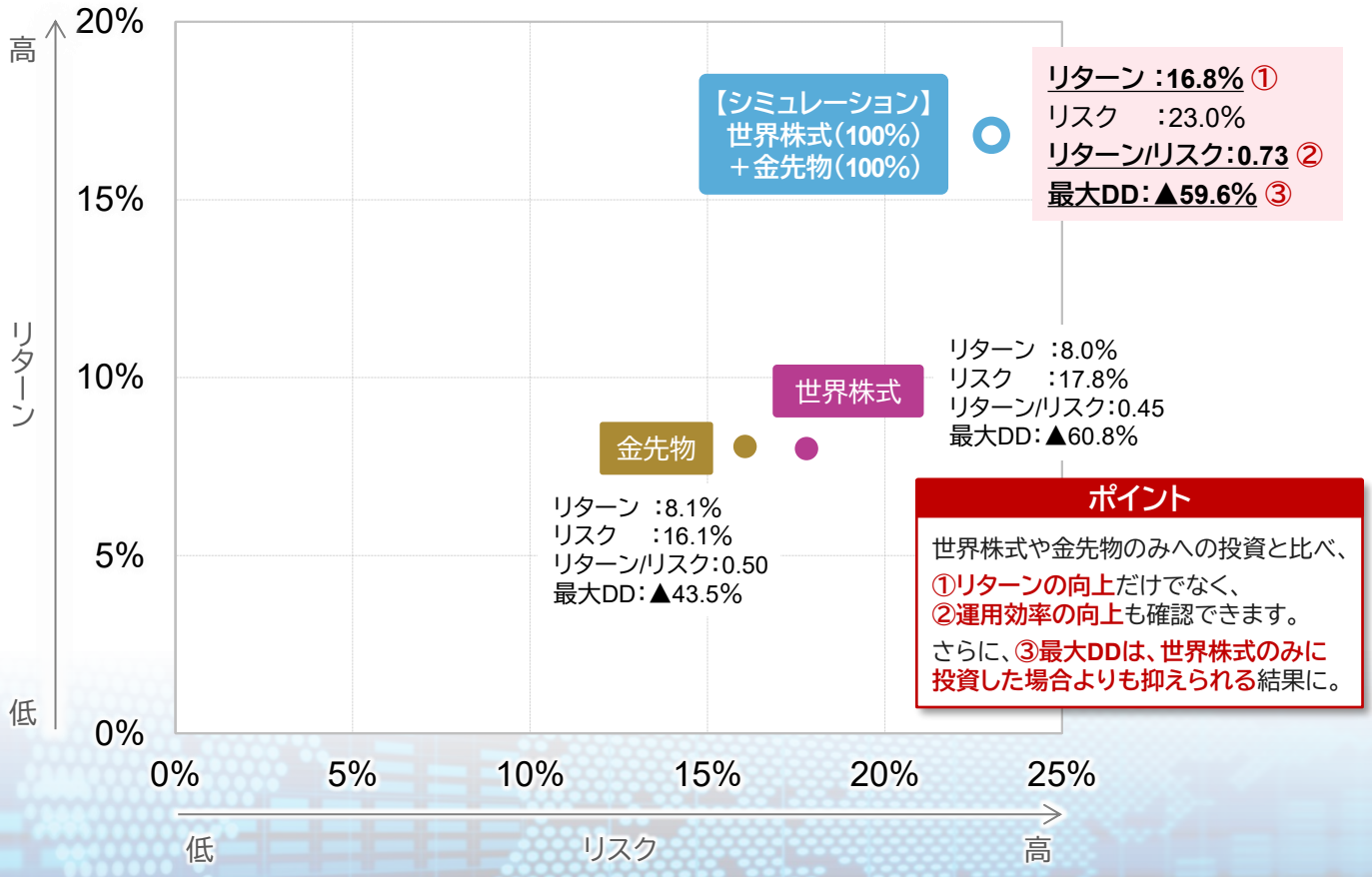
世界株式に金を組み合わせることにより期待される「運用効率の向上と下値抑制効果」

- 世界株式に金を組み合わせることにより、運用効率の向上や下値抑制効果などが期待されます。
- 当ファンドの運用ルールに基づいたシミュレーションでは、2000年以降の期間において、**運用効率の向上のほか、リターンの向上**も確認することができます。
- さらに、先物取引を活用し、**純資産総額の200%相当額（世界株式と金にそれぞれ100%相当額ずつ）の投資をしているにもかかわらず、世界株式に100%相当額投資した場合よりも最大ドローダウン*（DD）を抑制**できていることから、下値抑制効果も期待されます。

＊ 高値から最も下落した期間の下落率（最も悪いタイミングで投資を行なった場合の下落率）

＜シミュレーションおよび世界株式、金先物の年率リスク・リターン＞
（計算期間：1999年12月末～2025年12月末）

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績でありません。



※ 使用した指数や計算前提は前ページと同様です。
※ リターンは月次リターンの幾何平均、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算

※ 上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴なう資金流出入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。運用開始後の当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。
※ 純資産総額の200%相当額の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き（リスク）が大きかった点には十分ご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスについて、もっと詳しく①

～米国だけでなく、アジアや欧州などの企業にも幅広く分散～

All Country オール・カントリー

- MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスは、先進国・新興国の大型・中型株で構成され、世界の株式市場の約85%（2025年12月末現在）をカバーしています。**同指数は時価総額加重平均で算出されるため、時価総額の大きい米国企業の構成比が高くなるものの、アジアや欧州などの企業にも幅広く分散**されています。
- 同指数の構成上位銘柄には、**米国企業を中心に、世界経済をけん引するトップ企業**が名を連ねています。

＜MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスの構成上位銘柄＞
（2025年12月末現在）

	銘柄名	国・地域名	業種名	構成比率
1	エヌビディア	米国	情報技術	4.87%
2	アップル	米国	情報技術	4.33%
3	マイクロソフト	米国	情報技術	3.67%
4	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ	2.38%
5	アルファベット（クラスA）*1	米国	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	1.96%
6	ブロードコム	米国	情報技術	1.67%
7	アルファベット（クラスC）*2	米国	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	1.65%
8	メタ・プラットフォームズ	米国	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	1.54%
9	テスラ	米国	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ	1.36%
10	台湾ｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀｰ・ﾏﾆｭﾌｧｸﾁｬﾘﾝｸﾞ	台湾	情報技術	1.31%

＊1 議決権が付与された株式　＊2 議決権が付与されていない株式　（出所）MSCI Inc.

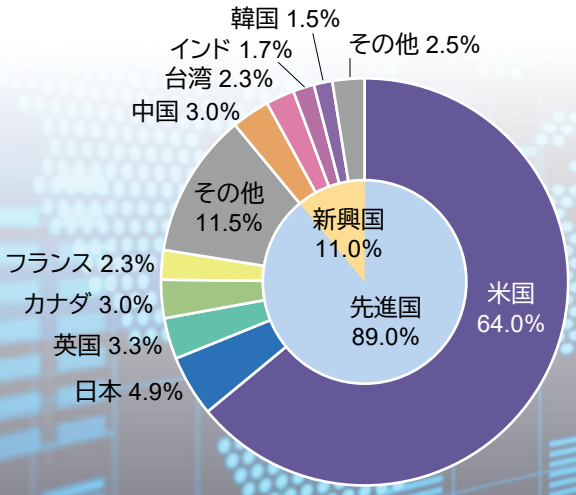
※ 業種は世界産業分類基準（GICS）のセクター分類に基づきます。
※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

＜同指数の構成国・地域一覧＞
（2025年12月末現在）

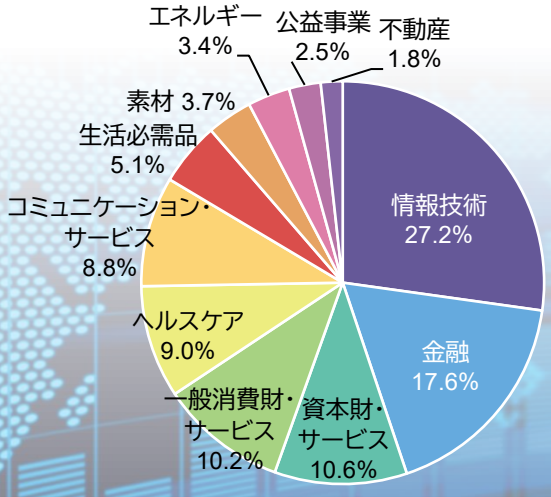
先進国（23ヵ国）	オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、香港、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポルトガル、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国
新興国（24ヵ国）	ブラジル、チリ、中国、コロンビア、チェコ、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インド、インドネシア、韓国、クウェート、マレーシア、メキシコ、ペルー、フィリピン、ポーランド、カタール、サウジアラビア、南アフリカ、台湾、タイ、トルコ、アラブ首長国連邦

※構成国・地域は順不同です。　（出所）MSCI Inc.

＜国・地域別構成比率＞
（2025年12月末現在）



＜業種別構成比率＞
（2025年12月末現在）



※ 各構成比率は時価総額比です。四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。
※ 業種は世界産業分類基準（GICS）のセクター分類に基づきます。
（出所）MSCI Inc.

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】

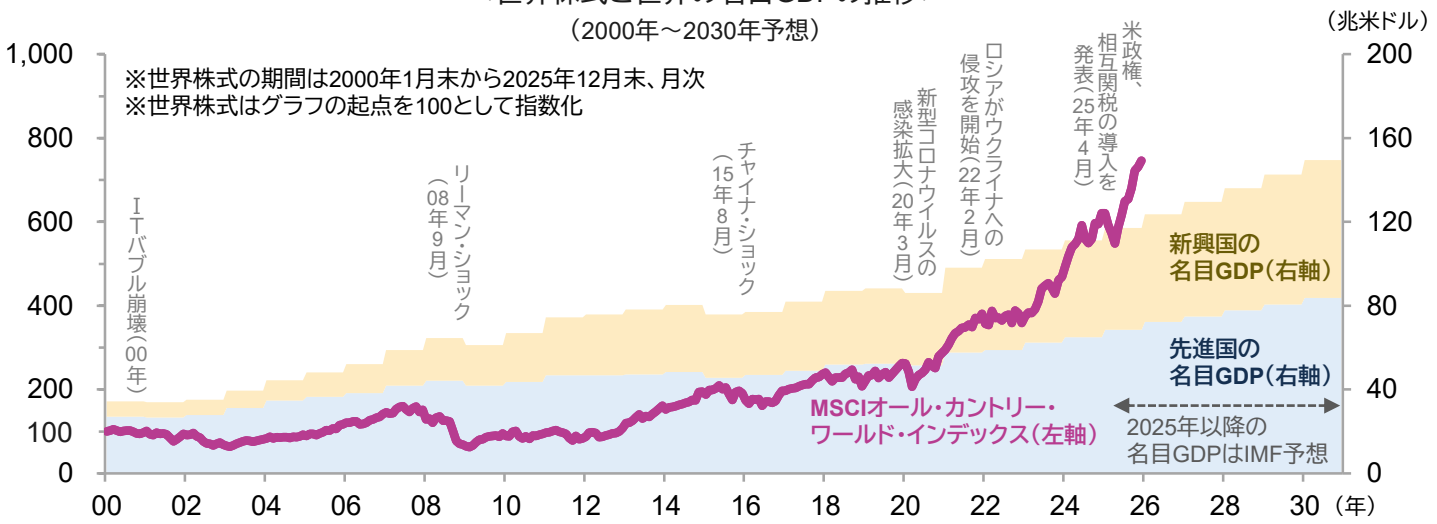
MSCIオール・カンタリー・ワールド・インデックスについて、もっと詳しく②

～世界経済の成長を背景に、中長期的に上昇傾向～

All Country オール・カンタリー

■ 世界株式は、短期的には大きく下振れする局面もあったものの、中長期的には世界経済の成長を取り込みながら上昇基調をたどってきました。そのため、**同指数への投資を通じて、世界経済の成長の恩恵を享受**することが期待されます。

＜世界株式と世界の名目GDPの推移＞
（2000年～2030年予想）



※ 世界株式：MSCIオール・カンタリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の値をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

IMF「World Economic Outlook Database,October 2025」などの信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

～国・地域を分散することにより期待されるリスクの低減～

All Country オール・カンタリー

■ 株式は長期的に値上がりが期待される資産ですが、**毎年どの国・地域の株価が上昇するかを予測し、捉え続けることは困難**です。**投資先を特定の国・地域に限定せず世界に分散することにより、リスクの低減が期待**されます。

＜世界株式と主要国・地域の株式の年間騰落率推移（米ドルベース）＞
（2008年～2025年）

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
新興国株式 78.5%	新興国株式 18.9%	欧州株式 19.1%							新興国株式 37.3%		米国株式 30.9%	米国株式 20.7%			米国株式 26.5%	米国株式 24.6%	欧州株式 35.4%
欧州株式 35.8%	日本株式 15.4%	新興国株式 18.2%	米国株式 31.8%					新興国株式 11.2%	欧州株式 25.5%		世界株式 26.6%	新興国株式 18.3%	米国株式 26.5%		世界株式 22.2%	世界株式 17.5%	新興国株式 33.6%
世界株式 34.6%	米国株式 14.8%	世界株式 16.1%	日本株式 27.2%					米国株式 10.9%	日本株式 24.0%		欧州株式 23.8%	世界株式 16.3%	世界株式 18.5%		日本株式 20.3%	日本株式 8.3%	日本株式 24.6%
米国株式 26.3%	世界株式 12.7%	米国株式 15.3%	欧州株式 25.2%	米国株式 12.7%	日本株式 9.6%	世界株式 7.9%	世界株式 24.0%				日本株式 19.6%	日本株式 14.5%	欧州株式 16.3%		欧州株式 19.9%	新興国株式 7.5%	世界株式 22.3%
日本株式 6.3%	欧州株式 3.9%	米国株式 1.4%	日本株式 8.2%	世界株式 22.8%	世界株式 4.2%	米国株式 0.7%	日本株式 2.4%	米国株式 21.2%			新興国株式 18.4%	欧州株式 5.4%	日本株式 1.7%		新興国株式 9.8%	欧州株式 1.8%	米国株式 17.3%
日本株式 -29.2%		世界株式 -7.3%		新興国株式 -2.6%	新興国株式 -2.2%	世界株式 -2.4%	欧州株式 -0.4%		米国株式 -5.0%				新興国株式 -2.5%	欧州株式 -15.1%			
米国株式 -37.6%		欧州株式 -11.1%			日本株式 -4.0%	欧州株式 -2.8%			世界株式 -9.4%					日本株式 -16.6%			
世界株式 -42.2%		日本株式 -14.3%			欧州株式 -6.2%	新興国株式 -14.9%			日本株式 -12.9%					世界株式 -18.4%			
欧州株式 -46.4%		新興国株式 -18.4%							新興国株式 -14.6%					米国株式 -19.8%			
新興国株式 -53.3%									欧州株式 -14.9%					新興国株式 -20.1%			

※ 世界株式：MSCIオール・カンタリー・ワールド・インデックス、新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス、その他の主要国・地域の株式：MSCI各国・地域の指数（いずれも税引後配当込み、米ドルベース）、なお、上記指数は、いずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】

ファンドの特色

1 実質的に全世界の株式（海外先進国株式、海外新興国株式、日本株式）および金に分散投資を行ない、収益の獲得をめざします。

2 先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。

3 購入時手数料はかかりません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

指数の著作権等について

「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」

本ファンドは、MSCI Inc.(「MSCI」)、その関連会社、情報提供者その他MSCI指数の編集、計算または作成に関与または関係した第三者(以下、総称して「MSCI関係者」という。)によって支持、保証、販売または販売促進されるものではない。MSCI指数は、MSCIの独占的財産とする。MSCIおよびMSCI指数の名称は、MSCIまたはその関連会社のサービスマークであり、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社による特定の目的のために使用が許諾されている。MSCI関係者は、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、ファンド全般もしくは本ファンド自体に対する投資適合性、または対応する株式市場の利回りを追跡するMSCI指数の能力につき、明示的か黙示的かを問わず何ら表明または保証するものではない。MSCIまたはその関連会社は、特定の商標、サービスマークおよび商号、ならびに、本ファンドまたは本ファンドの発行会社、所有者その他の者もしくは組織とは関係なくMSCIが決定、編集し計算したMSCI指数のライセンサーである。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数の決定、編集または計算にあたり、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織の要望を考慮する義務を負わない。いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行時期、発行価格もしくは発行数量の決定、または、本ファンドを現金に換算する方程式もしくは本ファンドの換算対価の決定もしくは計算について責任を負うものではなく、また、関与もしていない。また、いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、本ファンドの管理、マーケティングまたは募集に関するいかなる義務または責任も負わない。

MSCIは、自らが信頼できると考える情報源からMSCI指数の計算に算入または使用するための情報を入手するが、いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの独創性、正確性および/または完全性について保証するものではない。いずれのMSCI関係者も、明示的か黙示的かを問わず、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織が、MSCI指数またはそれに含まれるデータを使用することにより得られる結果について保証を行なわない。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの、またはそれに関連する誤り、欠落または中断について責任を負わない。また、MSCI指数およびそれに含まれるデータの各々に関し、いずれのMSCI関係者も明示的または黙示的な保証を行なうものではなく、かつMSCI関係者は、それらに関する市場性または特定目的適合性に係る一切の保証を明示的に否認する。上記事項を制限することなく、直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害その他あらゆる損害(逸失利益を含む。)につき、仮にその可能性について通知されていた場合であろうとも、MSCI関係者は、かかる損害について責任を負わない。

本有価証券、本商品もしくは本ファンドの購入者、販売者もしくは所有者、またはその他いかなる者もしくは組織も、MSCIの承認が必要か否かの確認を事前にMSCIに求めることなく、本有価証券を支持、保証、販売または販売促進するためにMSCIの商号、商標またはサービスマークを使用したり、それらに言及したりしてはならない。いかなる者または組織も、MSCIの書面による承認を事前に得ることなくMSCIとの関係を主張してはならない。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および株価指数先物取引・金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式および株価指数先物取引・金先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】【レバレッジリスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「Tracers MSCIオール・カントリー・ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的としてアモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 当ファンドは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2026年2月6日に関東財務局長に提出しており、2026年2月22日よりその効力が発生します。なお、効力発生前に記載内容の訂正が行なわれる場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	＜当初申込期間＞　1口当たり1円 ＜継続申込期間＞　購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入申込期間	＜当初申込期間＞　2026年2月24日から2026年3月5日まで ＜継続申込期間＞　2026年3月6日以降
信託期間	無期限（2026年3月6日設定）
決算日	毎年2月7日（休業日の場合は翌営業日）
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日　・英国証券取引所の休業日　・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日　・シカゴ商業取引所の休業日　・ニューヨーク商品取引所の休業日 ・ユーレックスにおけるすべてのデリバティブ取引に共通の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.2519%（税抜0.229%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.amova-am.com 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

【取扱い開始予定日：2026年2月24日（当初申込期間初日）】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者　株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（50音順、資料作成日現在）

トレイサーズ Tracers とは…

「こんなの欲しかった」というアイデアを
ファンドの設計に取り入れ、
「インデックス（指数）」や「独自に定めたルール」などの
ルールに沿って運用（トレース）する、
アモーヴァ・アセットマネジメントのファンドシリーズです。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
【本資料の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。】